

「教育実習、がんばっています！」

教員免許取得を目指す地域学部、工学部、農学部の学生たちが、鳥取大学附属学校園で、教育実習に参加しています。

鳥取大学附属学校園では、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校の4校園で、教育実習を実施しており、今年度は約150名の学生が教育実習に参加しています。

11月の教育実習は、副免許実習(2校種目、3校種目の教育実習)となる学生も多く、主免許実習で経験した校種の成長段階とは異なり、日々、新鮮な驚きを感じながら実習に取り組んでいます。

附属幼稚園の副免許実習の参観に行くと、園児と一緒に園庭を走り回ったり、落ち葉や木の実を拾ったり、草花をすりつぶして色水を作ったりしている実習生の姿が見られました。爽やかな秋空の下で遊ぶ子どもたちを見守る実習生の顔には、笑顔が絶えません。

幼稚園の先生からは、実習生同士で協力し合い、工夫を凝らして誕生日会の出し物をしていました様子も聞くことができました。

今年度から、文部科学省の「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」に採択され、鳥取県教育委員会と連携・協働して教員養成機能のより一層の強化に取り組んでおります。

鳥取大学は、「学校の先生になりたい」という夢を、応援しています！



「せんせい、あっちにもはっぱがあるよー！」



「ブドウジュースかな？」